

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2005-32703(P2005-32703A)

【公開日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-005

【出願番号】特願2004-57989(P2004-57989)

【国際特許分類】

F 2 1 V	8/00	(2006.01)
G 0 2 B	6/00	(2006.01)
G 0 6 F	3/02	(2006.01)
<i>H 0 1 H</i>	<i>9/18</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 1 H</i>	<i>13/02</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 1 H</i>	<i>13/712</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>F 2 1 Y</i>	<i>101/02</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

F 2 1 V	8/00	6 0 1 B
G 0 2 B	6/00	3 3 1
G 0 6 F	3/02	3 1 0 G
H 0 1 H	9/18	A
H 0 1 H	13/02	A
H 0 1 H	13/70	E
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月27日(2005.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、導光体3のドットパターン部3bは、照光させる入力キー6aのそれぞれの下方に位置するように設けられている。図3は導光体3を上面から見た図であるが、導光体3は透明材料であるため、下面3dのドットパターン部3bを視認することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、4個の光源体2_1～2_4は、照光入力装置LKの長手方向に対し、中央部より端面部側に配置し、かつ互いに中央部方向に向き合うように、第1の光源グループG1および第2の光源グループG2として配置される。結果、光源体2から射出された光が導光体3の全体に効率良く供給される。さらに、導光体3の穴部3hは光源体2の発光面側が円弧状の形状を有しているため、導光体3に入る光量を効率良く拡散し導光することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

【図1】本発明にかかる照光入力装置の構成を示す分解斜視図

【図2】図1に示した照光入力装置の部分断面図

【図3】図1に示した光源体と導光体との関係を示す図